

News Release

2019年6月27日
 独立行政法人製品評価技術基盤機構
 N I T E (ナ イ ト)
 東 北 支 所

エアコン・扇風機の事故に注意 ～6月から急増！火災事故～ （東北版資料）

1. 事故の発生状況

東北地方6県（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）で2013年度から2017年度の5年間にNITE（ナイト）に通知された製品事故情報において、エアコン^{※1}及び扇風機^{※2}の事故は10件^{※3}ありました。

拡大被害が7件、製品破損が3件となっており、施工に関連する事故が2件、40年以上使用した製品の事故が2件ありました。

表1 エアコン及び扇風機の事故の県別の年度別事故発生件数

発生年度 \ 発生県	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	合計
2013年度	0	0	0	0	1	0	1
2014年度	0	0	0	1	0	1	2
2015年度	0	0	0	1	0	0	1
2016年度	0	1	0	0	3	0	4
2017年度	0	0	0	1	0	1	2
合 計	0	1	0	3	4	2	10

表2 エアコン及び扇風機の県別の被害状況別事故発生件数

被害状況 \ 発生県	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	合計
死亡	0	0	0	0	0	0	0
重傷	0	0	0	0	0	0	0
軽傷	0	0	0	0	0	0	0
拡大被害	0	0	0	2	3	2	7
製品破損	0	1	0	1	1	0	3
被害なし	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	1	0	3	4	2	10

表3 エアコン及び扇風機の事故の県別の事故原因区分別発生件数

原因区分		発生県						合計
		青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
製品に起因する事故	A:設計、製造又は表示等に問題があったもの	0	0	0	0	0	1	1
	B:製品及び使い方に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	C:経年劣化によるもの	0	0	0	0	0	0	0
	G3:製品起因ではあるが、その原因が不明のもの	0	0	0	0	0	1	1
製品に起因しない事故	D:施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	0	0	0	1	1	0	2
	E:誤使用や不注意によるもの	0	0	0	0	0	0	0
	F:その他製品に起因しないもの	0	1	0	0	0	0	1
G1、G2:原因不明のもの		0	0	0	2	3	0	5
H:調査中のもの		0	0	0	0	0	0	0
合計		0	1	0	3	4	2	10

(※1) ルームエアコン（室外機、室内機）に加え、コンプレッサーを使用する冷温風機も含む。

(※2) ファンの見えないものやサーキュレーターを含む。USB接続の扇風機は含まない。

(※3) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故（ヒヤリハット情報（被害なし）を含む）。

リコール情報検索サイト

製品安全

HOME > 製品安全 > リコールの検索

リコール情報データベース検索の手引き

- ・平成元年度(1989年度)以降に収集したデータが保存されています。
- ・キーワード、検索項目、選択条件の検索条件により絞り込み検索が可能です。

キーワード条件

キーワード	検索項目	選択条件
1	指定なし	含む
2	指定なし	含む
3	指定なし	含む

条件: 1:全てを満足しているもの

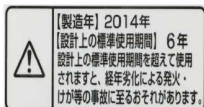
全角/半角: 区別なし 区別する

検索する クリアする

※別紙に商品一覧を示しますので、検索の際にご参照下さい。

Copyright (2013) National Institute of Technology and Evaluation All rights reserved.

長期使用製品安全表示制度 表示イメージ



2. 主な事故事例

- 2017年8月6日（福島県、年齢性別不明、使用期間約40年、拡大被害）
事故内容: 扇風機を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。
事故原因: 当該製品は、長期使用により、モーター用コンデンサーが劣化し、出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、コンデンサーを確認できなかったことから、事故原因の特定には至らなかった。

- 2017年2月1日（山形県、年齢性別不明、使用期間不明、拡大被害）
事故内容: エアコンを使用中、当該製品の室外機と室内機を接続する内外連絡線を焼損する火災が発生した。
事故原因: 当該製品と室外機を接続する内外連絡線を中間接続したため、接続部で異常発熱し、連絡配線を焼損したものと推定される。
なお、据付工事説明書には、「中間接続は、絶対に行わない。」旨、記載されている。

- 2016年8月25日（山形県、年齢性別不明、使用期間約43年、拡大被害）
事故内容: 事務所で扇風機及び周辺を焼損する火災が発生した。
事故原因: 当該製品の電源コードが断線、短絡したことにより、出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、事故原因の特定には至らなかった。

- 2016年5月24日（岩手県、年齢性別不明、使用期間不明、製品破損）
事故内容: 異臭がしたため確認すると、エアコン(室外機)を焼損する火災が発生していた。
事故原因: 当該製品内部に蛇が侵入したため、インバーター基板の高圧回路部が短絡し、基板の一部を焼損したものと推定される。

- 2014年10月31日（秋田県、年齢性別不明、使用期間約8年、拡大被害）
事故内容: エアコンを使用中、室内機と室外機を接続する配線付近から出火し、壁が焦げた。
事故原因: 施工業者が室内機と室外機を接続する配線において、挿し込みコネクタにより途中接続したため、接続部で接触不良が生じて異常発熱し、短絡して出火したものと推定される。
なお、据付工事説明書には、「室内機と室外機を接続する配線を途中接続しない」旨、記載されている。

3. エアコン及び扇風機の事故の実験映像について

エアコン及び扇風機の事故の実験映像に関しまして、写真及びムービーをご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

以上

【編集人のつぶやき】

暑い夏にエアコンや扇風機は欠かせませんよね。

これから使う事が多くなるエアコンや扇風機の事故を未然に防ぐために、

- リコール対象製品かどうか確認しましょう！
- エアコンの電源コードの途中接続は止めましょう！
- 扇風機のモーターから変な音がする、異常に熱くなる、焦げくさいにおいがするなどの場合は使うのを止めましょう！

ところで、「製造年」や「設計上の標準使用期間」って書いてあるシールを知っていますか？

エアコン、扇風機などの5品目に長期使用に伴う経年劣化による事故を防ぐために「長期使用製品安全表示制度」が設けられています。

今度見てくださいネ！

(本件に関する問い合わせ先)

〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台 4-5-18

ナイト

独立行政法人製品評価技術基盤機構(略称:NITE)

東北支所 業務課

担当:菊地(きくち)、齋藤(さいとう)、福井(ふくい)

電話:022-256-6423

E-mail:jiko-tohoku@nite.go.jp

NITE
ホームページ

YouTube
公式チャンネル

Twitter
公式アカウント

